

# 平成 26 年度 事業報告

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

## (1) 基本方針

水環境保全及び公衆衛生の向上に寄与するため、浄化槽法定検査の効率的な推進に努め、山形県、市町村及び関係機関と連携を図り、浄化槽設置者に対する適正な管理知識の普及啓発を推進し、浄化槽法定検査の受検率の向上に努めた。

## (2) 事業実施状況

法定検査業務の推進

### 1) 浄化槽法定検査

- ① 7 条検査については 786 基、11 条検査については 36,419 基、合計 37,205 基を実施した。
- ② 山形県と浄化槽関係団体の協議の上、浄化槽管理士からの法定検査受検勧奨に対する協力を得て、受検率の向上に取り組んだ。

また、総合支庁及び管内市町村の担当者と情報交換を行い、行政・業界と共に未受検者に対し周知啓発を行った。

(未受検者対応)

検査拒否対応	2,380 件対応	401 件受検 (16.8%)
未申込対応	2,399 件対応	153 件申込 (6.4%)
合計	4,779 件対応	554 件受検 (11.6%)

### 2) 浄化槽及び一般廃棄物に関する研修会・講習会

- ① 浄化槽管理士・浄化槽清掃技術者・当協会職員及び一般廃棄物処理業者の資質の向上を図るため研修会を開催した。

10 月 15 日 浄化槽管理研修会 天童市 総合運動公園会議室 78 名参加

2 月 19 日 日本環境保全協会 一般廃棄物セミナー 仙台市

会員希望者 11 名参加

3 月 7 日 (有)厚生社において浄化槽管理研修会

置賜地区会員従業員を対象 21 名参加

- ② 各総合支庁管内において、浄化槽の適正な取り扱いとルールを理解してもらうため、浄化槽新規設置者に対する講習会を開催した。

また、浄化槽新規設置者には、講習会資料一式を無料で配付した。

12 月 3 日 米沢市・南陽市・川西町浄化槽新規設置者講習会 59 名参加

12 月 9 日 新庄最上地区浄化槽新規設置者講習会 52 名参加

12 月 10 日 尾花沢市・大石田町浄化槽新規設置者講習会 23 名参加

欠席者に対する資料配布部数 292 部

3) 浄化槽及び一般廃棄物に関する情報提供、会報の発行

- ① 浄化槽及び浄化槽清掃に関する情報を随時提供した。
- ② 一般廃棄物処理業に関する情報「環境保全タイムズ」を毎月提供した。
- ③ 機関紙を10月1日に発行し、無料配布した。
- ④ インターネットによるホームページをリニューアルし、浄化槽の仕組みや適正な管理知識の普及に努めた。  
ホームページアドレス <http://www.yamagata-suisituhozen.or.jp/>

4) 浄化槽の維持管理に関する調査・相談・指導業務

- ① 浄化槽管理者からの相談や問い合わせ等に対し、専門的知識を持って随時対応した。
- ② 市町村等からの依頼に応じ浄化槽法定検査の結果データを解析し、報告した。  
25年度依頼市町村の行政組織調査の資料作成、過年度分国庫補助金対象浄化槽の検査結果調査等の依頼に応じた。
- ③ 各地区で開催した「浄化槽新規設置者に対する講習会」終了後に個別相談会を開催した。

5) 浄化槽に関する調査研究

- ① 全国浄化槽技術研究集会において、「地下浸透処理装置の実態調査について」及び「リン酸態リンの簡易測定キットの評価」の2題を発表した。
- ② 法定検査委員会を開催し、法定検査委員会内ワーキンググループにて協議検討を開始し「優良浄化槽認証制度」の諸問題を提示、「静岡県富士市」「岐阜県岐阜大学」の先進地視察を行い、今後の進め方について協議検討を行った。
- ③ 浄化槽に係る調査研究として、ディスポーザー使用時の維持管理・放流水質への影響を調べるため、県内4施設にディスポーザーを設置し、浄化槽管理者、保守点検業者、検査機関一体となり調査をした。  
結果報告については、27年度の浄化槽技術研究集会での発表を目指す。
- ④ 環境省が取り組んでいる基本検査の試験運用について、最上地域で実施し、その結果について同省に報告を行なった。
- ⑤ 環境省が取り組んでいる海外向け浄化槽普及啓発ビデオ製作に協力した。

6) 水環境保全活動への支援

- ① 県内小中学生の団体等からの要請により、簡易調査キットによる水質検査を実施するとともに、その結果の総評等を行い、環境教育に協力した。  
なお、4地区12団体222名の参加。
- ② 美しい山形・最上川フォーラムの県内一斉調査「身近な川や水辺の健康診断」への参加とデータ集計を行った。  
95団体243箇所のレーダーチャート作成と各河川毎の調査ポイントのプロットを行った。
- ③ 山形県地区衛生組織連合会活動に対し支援を行った。

また、同連合会総会において浄化槽啓発用リーフレット配布と説明を行うとともに、山形県地区衛生組織連合会会員に対し、機関紙を送付してもらい、協会活動内容について理解を求めた。

- ④ もがみがわ水環境発表会に対し支援を行った。

#### 7) 被災地支援活動

石巻市立大原小学校の要請を受け、10月7日・8日に延べ51名で被災地の草刈り並びにグラウンド、校庭の下刈・整備を実施した。

(実施団体)

(一社) 東京環境保全協会青年部 25名

(一社) 北海道環境保全協会青年部 16名

(公社) 山形県水質保全協会青年部 3名 同職員 8名

#### 8) その他活動

- ① 日本赤十字社活動に対し支援を行った。
- ② 旧事務所について老朽化から雨漏りや壁の腐食等が起こり「修繕か解体か」を検討した結果、第2回理事会において、当年度の事業として「倉庫(旧事務所)解体工事」の承認を受け1月2月に解体工事を実施した。
- ③ 会員相互の意見交換と融和を図るため、相互の扶助事業並びに懇親会を開催した。  
6月10日 第4回社員定時総会終了後に開催した。